

NUBIC 知的財産情報開示

開示日：2020年11月24日

各 位

NUBIC 知的財産情報の要約を公開いたします。

技術移転等を御希望の場合は、ホームページの「**NUBIC 技術シーズ案件申込**」フォームからお申込みください。各担当コーディネーターから御連絡申し上げます。

「NUBIC 技術シーズ案件申込」フォーム：

TOP>共同・受託研究>申込書／契約書>本学研究シーズの利活用の申込み>WEB から

出願番号 整理番号 担当者

表題	形状記憶性樹脂組成物及び成形体		
発明の概要・応用	<p>【課題】高い透明性及び耐熱性を有する観点からアクリル系樹脂を含有する形状記憶性樹脂組成物が求められている。また、UV遮蔽能や導電性を向上させる観点から、無機材料を含有する形状記憶性樹脂組成物も求められている。</p> <p>しかしながら、従来のアクリル系樹脂と無機材料とを併用した場合、アクリル系樹脂と無機材料とが熱的に解離しない強固な結合をしてしまい、熱融解ができない。そのため、無機材料にアクリル系樹脂を流し込み、無機材料にアクリル系樹脂を含浸させることにより作製されるシート形状などの単純な形状しか成形できず、通常の熱可塑性樹脂で作製可能な複雑な形状を成形することは困難であった。</p> <p>【解決手段】 無機成分と高分子材料の相互作用を特異的に切断するイオン性添加剤を発見し、このイオン性添加材・アクリル樹脂(PMMA)・チタニアの三成分からなるハイブリット材料を開発した。この材料は透明かつ UV 照射遮蔽能・形状記憶性を有し、更に特筆すべきことに、3D ネットワークを組むにもかかわらず溶融成型が可能。</p>		
発明の特徴・効果	<ul style="list-style-type: none">*ベースがアクリル系樹脂であるので高い透明性と耐熱性を有している。*無機材料（実施例ではチタニア）を含有しているため、紫外線遮蔽能を有している。*アクリル系樹脂と無機材料を併用しているにも関わらず熱誘拐が可能で、複雑な形状を成形可能*リサイクル後も大幅な特性の変化はないため、再生し利用可能である。		
技術分野	有機材料	化学・薬品	



【問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp